

三菱自動車、欧州市場向けの新型コンパクト SUV 『ASX』 を発表

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）の欧州事業統括会社である三菱自動車・ヨーロッパ・ピー・ブイ（MME）は、欧州市場向けの新型コンパクト SUV 『ASX』 をオンライン発表会で世界初披露しました。



新型『ASX』

コンパクト SUV 『ASX』 はグローバルに幅広く展開する三菱自動車の主力車種で、欧州では 2010 年から販売していました。今回、アライアンスパートナーであるルノーより欧州市場向けに OEM 供給を受ける新型『ASX』は、ルノー・日産・三菱自動車アライアンスによる CMF-B プラットフォームを採用したコンパクト SUV で、スペインのルノー社パリヤドリード工場生産され、2023 年 3 月より当社の販売ネットワークを通じて欧州の一部市場で販売を開始します。

新型『ASX』は、フロントからリヤへと流麗なシルエットとし、後方にむかって切れ上がるキャラクターラインとフローティングルーフを採用することによって、軽快な走りを予感させる躍動感のあるスタイリングとしています。フロントでは、三菱自動車のデザインコンセプト「ダイナミックシールド」の要素を取り入れ、上部にスリーダイヤを堂々と配したフロントグリルで力強さを表現しました。また、ボディサイドを絞り込み、ショルダーを張り出すことで、大地をしっかりと捉えて駆け抜ける力強さを表現しています。

欧州の多様なニーズにお応えすべく、新型『ASX』では複数のパワートレインを設定しました。1.6L ガソリンエンジンに駆動用と発電用の 2 つのモーター、マルチモードの自動変速機と 10.5kWh の駆動用バッテリーを組み合わせたプラグインハイブリッド EV (PHEV) モデルをはじめ、1.6L ガソリンエンジンに駆動用と発電用の 2 つのモーター、マルチモードの自動変速機と 1.2kWh の駆動用バッテリーを組み合わせたハイブリッド (HEV) モデル、1.3L 直噴ガソリンターボエンジンと 6 速マニュアルトランスミッション或いは 7 速ダブルクラッチオートマチックトランスミッションを組み合わせたマイルドハイブリッドモデル、1.0L ガソリンターボエンジンと 6 速マニュアルトランスミッションを組み合わせたガソリンエンジンモデルをラインアップしています。

室内は広いラゲッジルームとスライド式リヤシートで利便性を高めました。さらに
インストルメントパネルの中央にはスマートフォン連携ディスプレイオーディオ
(SDA) を配置。ディスプレイ上からドライバーの好みに合わせたドライブモードを
選択することができる「マルチセンス」システムを採用しました。また、レーダー
クルーズコントロールシステム[ACC]と車線維持支援機能を組み合わせた高速道路同一
車線運転支援機能「マイパイロット」をはじめとした先進運転支援システムを搭載し、
安全な運転をサポートします。

以上